

酸京★ニュースレター

2022年4月号

映える特殊効果 演出のポイント

このニュースレターの「メール版」はご覧いただけましたか？
本号の内容は2022年3月15日(火)7:50に配信しております。
メール版が届いていない場合、こちらからご登録いただくか、
迷惑メールボックスをご確認ください。



メール版のご登録は
こちらから

ただいま環境整備中

代表取締役 小峰 聖

当社では、仕事や時間の価値を上げるためには環境が大切と考えており、
環境整備に力を入れています。

今回、スタッフ増員もあり、ただいま社屋の一部を改修しています。
改修後は、ミーティングルームやキッチンがリニューアルされ、よりクリエイティブでより快適なオフィス空間にしていきます。

次号では改装後の様子をお伝えします。



アンケートのお願い

- Q：映える特殊効果演出に関する記事はいかがでしたか？
 - Q：バックナンバーをご覧になってのご感想は？
 - Q：取り上げてほしい特殊効果演出機材や最新情報は？
- お答えと共に、ご質問やご要望など、お待ちしております。

アンケートはこちら→

ご回答：4月10日(日)まで
受け付けます



特殊効果演出についてよくいただく質問

Q 舞台やコンサートなどのリアルイベントと、映画やTVなどの映像の現場。映える特殊効果演出のポイントとは？

A 確かに、リアルイベントと映像の現場では演出の工夫に違いがあります。主な違いを表にまとめてみました。

| | リアルイベント（舞台、コンサート、記念式典など） | 映像作品（映画、CM、TV番組など） |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 見せどころ | ライブ感、場全体の盛り上がり | フレーム（画角）内で、いかにきれいに見せるか |
| 意識すべきポイント | 観客視線で、全体像を捉える | 完成形をイメージしながら調整していく |
| 強弱 | より派手な演出を心がける | メインの対象（人物や商品）を効果的に見せる |
| チャレンジ | キャノン砲など一発勝負の演出では緊張と達成感が味わえる | カメラワークについていく 最適な演出を調整することのこだわり |

特殊効果演出とは、目の前に見えるものを、よりリアルに、より映えるように見せるための取り組みです。状況に応じ、最適の演出を実現するよう求められるので、**現場によって意識すべきポイントが変わってきます。**

例えば、コンサートなどの**リアルイベントでは、その場全体を盛り上げる**ことが重要です。ですから、演者と観客が一体となるようなライブ感を出すため、派手な演出を心がけています。加えて、誰がどの位置から見ても楽しめるよう、高さや奥行きを意識することが大切です。

一方、映画やCMなどの**映像の現場では、カメラフレームの中で最適の演出**が求められます。レンズ越しに見ると実際とは見え方が異なることが多いため、映り具合を見ながら調整する必要があります。また、映像の現場では多くの場合、主役は役者さんや商品です。主役を際立たせるために出しゃばらない演出が必要となります。



特殊効果演出を手掛ける側としては、**どの現場においても最適を目指す**という意味で、毎日がチャレンジです。

バックナンバーをご覧ください！

酸京ニュースター、バックナンバーのご提供を開始します。

創刊号（2021年1月号）からご覧いただけますので、チェックしてみてください。

バックナンバーは、こちらから**閲覧およびダウンロードが可能**となります。

ご覧になるには、**弊社ホームページから「ニュースター」**ページをお尋ねください。

また、ページから最新号の新規配信登録もできます。

ご興味ある方、おススメしたい方がありましたら、ぜひ以下のリンクをご紹介ください。

今後も引き続き、より楽しく充実した内容のご提供を目指してまいります。

バックナンバーはこちらから →→→

<https://sankyocloud.co.jp/backnumber>



発行: 有限会社 酸京クラウド



〒143-0013 東京都大田区大森南3-19-12 酸京ビル
TEL: 03-3745-3773 10:00 - 18:00 (Mon to Fri)
FAX: 03-3745-4133 24hrs
E-mail: info@sankyocloud.co.jp

ニュースターの
配信・配送の停止を
ご希望の場合はこちら

